

臨床倫理の4分割表

医学的適応 Medical Indication

(Beneficience: 恩恵, Non-maleficence: 無害)

1. 診断と予後
2. 治療目標の確認
3. 医学の効用とリスク
4. 無益性(futility)

患者の意向: Patient Preferences

(Autonomy: 自己決定の原則)

1. 患者さんの判断能力
2. インフォームドコンセント
(コミュニケーションと信頼関係)
3. 治療の拒否
4. 事前の意思表示 (Living Will)
5. 代理決定 (代行判断、最善利益)

QOL

(Well-Being: 幸福追求)

1. QOL の定義と評価
(身体、心理、社会、スピリチュアル)
2. 誰がどのような基準で決めるか
 - ・偏見の危険
 - ・何が患者にとって最善か
3. QOL に影響を及ぼす因子

周囲の状況 Contextual Features

(Justice-Utility: 公平と効用)

1. 家族や利害関係者
2. 守秘義務
3. 経済的側面、公共の利益
4. 施設の方針、診療形態、研究教育
5. 法律、慣習、宗教
6. その他 (診療情報開示、医療事故)

家族の認識

家族の心理状況

